

空気式小型タガネ

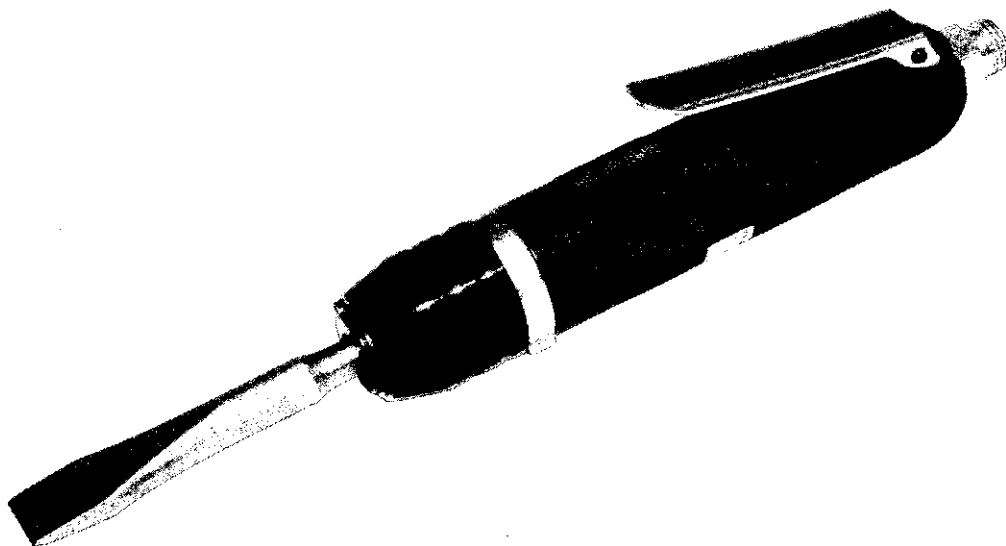
Professional Tool

AIR CHIPPER

エアーチップパー取扱説明書

型式 ACH-20

■この製品をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。



仕 様

型 式	ACH-20
使用空気圧力	0.59MPa (6kgf/cm ²)
空気消費量 (無負荷時)	0.21m ³ /min
ストローク数	5700min ⁻¹
チゼルシャンク	φ10.5mm
本体質量 (ホース、チゼル除く)	1.0kg

製造元 **日東工器株式会社**

本社・研究所 東京都大田区仲池上2-9-4 TEL 03 (3755) 1111 (大代表) 〒146-8555




この取扱説明書は必ず保管してください。

■改良のため仕様および形状等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

はじめに

このたびは日東工器の製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく効率的に作業することをお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

次の注意喚起シンボルの意味を十分に理解の上、この取扱説明書をよくお読みください。

 危険	<ul style="list-style-type: none">この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	<ul style="list-style-type: none">この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	<ul style="list-style-type: none">この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用上の注意事項（空気工具全般）

空気工具の使用方法を誤ると人身事故の原因となります。ご使用になる前に、この説明書の注意事項を守り、けがのないよう後述の基本的な安全対策を行ってください。

作業される方へ

警告

- **作業に適した服装をしてください。（図1）**
可動部分にからまれると危険ですので、ルーズな服装や装飾品をつけての作業はしないでください。滑りにくい履き物を履いてください。また、長髪のかたは髪が完全に収められる保護帽を着用してください。
- **常に保護メガネを着用してください。（図1）**
普通のメガネは、耐衝撃性のレンズしかついていないので保護メガネとはいえません。また、作業がほこりっぽい場合は防塵マスクもご使用ください。
- **大きな騒音を発する場合は耳せんを着用してください。**
- **無理な姿勢での作業はおやめください。**
適切な足場で、バランスの良い姿勢で作業してください。
- **疲労時は使用をおやめください。**
- **工具の中には相当の振動を感じるものがあります。**
使用中に不快感や苦痛を感じるような事があったときには作業を中断し、まず医師の検診を受けてください。
- **可動部分には絶対に触れないでください。**

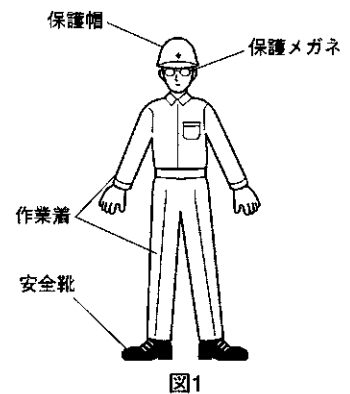


図1

作業場所について

警告

- **作業場所はきれいにしてください。**
ちらかした場所や作業台での作業は事故をまねきます。
- **作業場所にはご注意ください。**
工具を雨にさらさないでください。湿った場所や濡れた場所で工具を使用しないでください。作業場所は十分に明るくしておいてください。
- **引火性の液体の近くや、ガスなど爆発性の雰囲気での作業は絶対にしないでください。（図2）**
- **子供を作業場所に近づけないでください。**
子供や作業関係者以外の人を作業場所に近づかせないようにしてください。工具やコンプレッサ、接続ホースにも触れさせないようにしてください。
- **工具の中には大きな音を出すものがあります。**
各地の騒音規制に適合しているかどうか必ず確認してください。

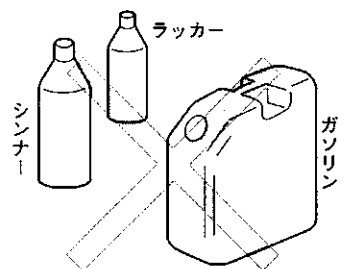


図2

作業前に

⚠ 警告

- 工具を使用する前には各部のボルトやナットなどがしっかり締まっているか必ず確認してください。
- 傷んだり破損しているホースや継手は使用しないでください。
- 調整後はスパナやレンチは、はずしてください。
調整用のスパナやレンチが工具から取りはずされていることを確認してから作動させる習慣をつけてください。
- 適切な工具をお使いください。
工具やその部品の能力を越えるような重作業はしないでください。また本来の用途以外では使用しないでください。
- 無理な使い方をしないでください。
工具は仕様どおり使うことにより、能率よく安全に使うことができます。
- 加工物は固定してください。
加工物はバイスやクランプで固定してください。加工物を手で持つより安全であり、工具を両手で操作することができます。
- 空気圧力は吸入口で0.59MPa (6kgf/cm²) を越えないようにしてください。

取扱いについて

⚠ 警告

- 工具の保管方法
工具を使用しないときは、乾燥した場所に保管してください。また子供の手が届かない場所に保管してください。
- 持ち運びに注意してください。
工具の作動スイッチに手をかけて持ち運ばないでください。また工具を持ち運ぶ場合は、工具を接続ホースからはずしてください。
- 不用意に始動しないでください。
工具を接続ホースにつなぐ前に、作動スイッチをOFF (切) にしてください。
- 接続ホースはていねいに取り扱いってください。
接続ホースを持って工具を運んだり、引っ張って取りはずすことはしないでください
- 工具を作動させたまま、放置しないでください。
コンプレッサのスイッチを切り、工具を接続ホースからはずしてください。工具が完全に停止するまで、その場所を離れないでください。

保守・点検

⚠ 警告

- 分解や改造はしないでください。
- 破損箇所を確認してください。
付属品やその他部品が破損したときは、工具が正常に作動するか、そして適切に作業できるかどうかを確認するために、破損箇所を十分に確認してください。可動部分の連結状態は正常か、故障部品がないか、取り付け状態は良好か、そしてその他作動に支障をきたすところがないか確認してください。
破損あるいは作業に支障をきたす付属品や部品がありましたら購入された販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に依頼し修理、交換してください。
- 専門家に修理してもらってください。
修理または部品の交換は、購入した販売店またはお近くのサービス日東会加盟店にご連絡ください。
交換部品は、純正部品のみをお使いください。
当社の技術指導を受けた者以外による修理や、純正部品以外による修理は事故を起こす危険がありますので、万一それらに起因する事故が発生した場合の保証はいたしかねます。
- 純正部品をご使用ください。
純正部品に関しては、この取扱説明書を参考にするか工具を購入した販売店もしくはお近くのサービス日東会加盟店にお問い合わせください。
不適切な部品を使用すると重大事故につながります。
- 付属品の取り付け、取りはずし、あるいは工具をメンテナンスするときは、必ず工具を接続ホースからはずしてください。
- 工具に付いているラベル、銘板ははがさないでください。
ラベル、銘板が傷ついたり、はがれたりしたら購入した販売店もしくはお近くのサービス日東会加盟店まで連絡し交換してください。

1. 用途

本機は専用のチゼルを用いて、ハツリ作業を行う空気式手持ち工具です。

2. 梱包内容の確認

本機を梱包箱から取り出しましたら、梱包内容の確認と製品が輸送中の事故などにより破損、油もれ等が起きていないかお調べください。梱包内容は本取扱説明書の部品表、附属品欄を参照してください。万一異常が生じていましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

3. 空気供給

3-1 使用空気圧力

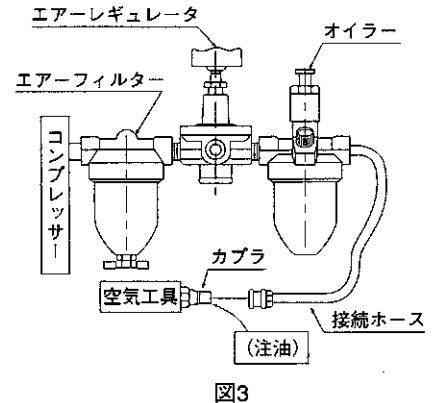
空気圧力は、0.59MPa (6kgf/cm²) でご使用ください。圧力が低すぎると所定の性能を発揮できません。高すぎると各部の損傷をまねきますので、エアレギュレータを使用して適正圧力に調整してください。

3-2 エアライン (図3)

コンプレッサーと本機の間には9.5mm (3/8") の接続ホースをご使用ください。圧縮された空気は、コンプレッサーをでると冷却され、水分が分離されます。しかしながら、水分の一部は管内で凝縮され、工具の内部に入り込み、トラブルを生じさせる恐れがあります。したがってコンプレッサーと工具の間にはエアフィルターとオイルを装着してください。

3-3 給油 (図3)

コンプレッサーと工具の間にオイルを取り付けてください。油は機械油#10を使用してください。注油をおこたると工具の損傷の原因となります。濃い油を注油しますと性能低下の原因となります。必ず機械油#10を使用してください。



4. 本機使用に関する注意事項

警告

- 作業時は、保護メガネ・耳せんを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防塵マスクを併用してください。
- 振動や切粉から手を保護するために、軍手、防振手袋などを使用してください。
- エアチップを長時間空運転させると、本体に損傷をおこす原因となり、寿命に著しく影響しますので、空運転は行わないでください。
- 作業中相当の振動を感じる場合があります。使用中に不快感や苦痛を感じるような事があった時には、作業を中断し、まず医師の検診を受けてください。
- チゼル先端には絶対に触れないでください。
- チゼルを確実に取り付けてください。チゼルが確実に取り付いていないと、作業中にチゼルが飛び出すことがありますので、確実に取り付けてください。
- 作業の支障とならない方向へ排気してください。排気により粉塵を巻上げたり、顔等に直接排気が当たらないように、排気方向を確認して作業してください。

5. 準備

警告

- 準備を行う時にはスロトルレバーをOFF (切) にし、接続ホースをはずしてから行ってください。

5-1 附属品の取り付け (図4)

附属品のエアホースAss'yを本体のニップル (M16XM16) に取り付けてください。

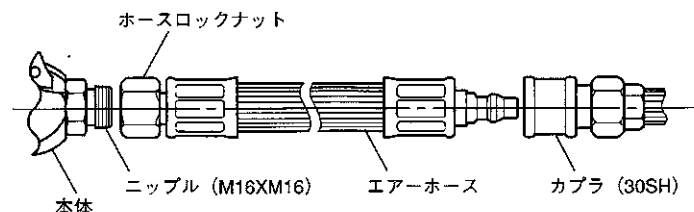


図4

5-2 チゼルの取り付け、取りはずし (図5)

- (1) 取り付け
スリーブを引いてチゼルの長円状の溝をスロットルレバーの位置を目安に差し込みます。スリーブが軸用止メ輪に突き当たる位置まで戻れば、チゼルがセットされます。
- (2) この時スリーブが戻らなければ、チゼルが正しくセットされていません。その際はスリーブから手を放し、チゼルの左右に回すか、前後に動かしてください。チゼルがセットできる位置に合うと、スリーブが自動的に軸用止メ輪に突き当たる位置まで戻ります。
- (3) 取りはずし
スリーブを引いてから、チゼルを引き抜いてください。

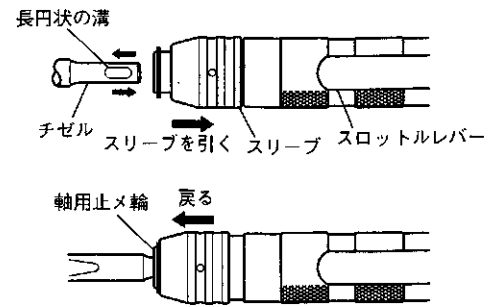


図5

5-3 スリーブストップの取り付け、取りはずし (図6)

作業中スリーブが引かれ、チゼルが抜け落ちないように、スリーブを固定します。

- (1) 取り付け
スリーブストップの開き側を本体の溝に合わせ、押し込むとセットされます。
- (2) 取りはずし
スリーブストップの開き側の両方のフックを押し出すとはずれます。

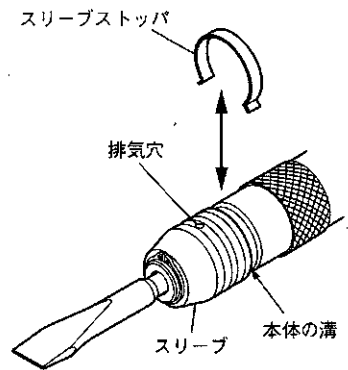


図6

5-4 排気穴の調整 (図6)

スリーブの側面に排気穴があります。
作業に応じて方向を調整してください。

6. 使用方法

警告

- 空運転は、行わないでください。

6-1 始動と停止 (図7)

- (1) スロットルレバーがOFFの状態になっていることを確認し、本機のカブラに接続ホースを差し込みます。
- (2) 本機を持ち、スロットルレバーを倒すと始動します。
- (3) スロットルレバーから手を離すと、自動的にOFFの状態に戻ります。

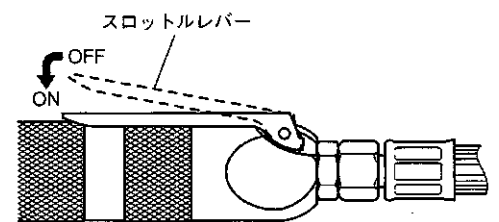


図7

6-2 使用方法 (図8)

本体部を両手で握り、スロットルレバーを倒し、チゼルを被加工物に押し当てます。作業に応じて本機の角度を調整してください。

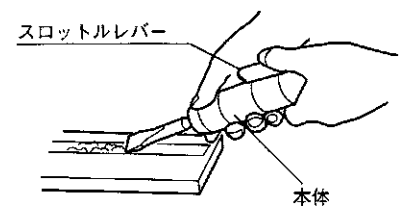


図8

7. 保守・点検

7-1 工具の保管方法

⚠ 注意

- 工具を使用しないときは、湿気の少ない場所に保管してください。またお子様などの手の届かない場所に保管してください。

使用したままの状態ですと、空気中の湿気が本体内部に残っており、錆が発生しやすくなりますので、作業終了後は工具のカプラから機械油#10を注油して、少し作動させたのち保管してください。

7-2 チゼルの刃先について

チゼルの刃先を研ぐ時は、刃先が加熱しないよう度々水で冷やしながら、原形に沿って研ぎ直してください。

8. 部品の注文

部品の注文の際は、部品番号・部品名・および個数をお買い求めの販売店へお知らせください。

9. 別売品

9-1 チゼル

標準付属のチゼルの他に次のようなチゼルを用意しております。用途に合わせてお使いください。

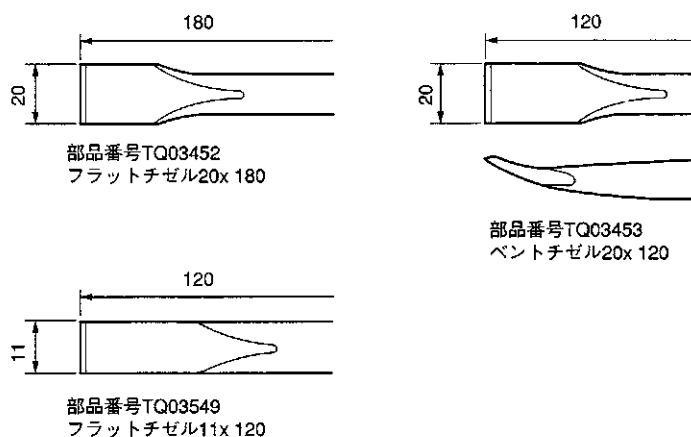


図9